



役場庁舎が「熊本県木材利用 優良施設コンクール」で 『くまもと県産材振興会賞』を受賞

3月15日、熊本県庁で開催された『第28回熊本県木材利用優良施設コンクール顕彰施設表彰式』で、「役場庁舎」が表彰されました。

熊本県木材利用優良施設コンクールは、熊本県が県産木材の利用普及と需要拡大を目的に、県産木材を利用した優れた施設を顕彰するコンクールです。

熊本県木材利用優良施設コンクール及び第28回受賞作品について詳しくは熊本県ホームページ (<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/92/156966.html>) をご覧ください。



ひな人形が大集合

南関御茶屋跡でひなまつり展

国史跡豊前街道南関御茶屋跡で、2月中旬から3月末までの期間「ひなまつり展」を開催し、七段飾りのひな人形や手作りのさげもん、てまりなどが館内を彩りました。

展示されたひな飾りは、各家庭で大切に保管されていたものを寄付していただき、ボランティアグループ南関宿場町伝楽人(宮尾洋一会長)が飾り付けました。

訪れた人は、かわいらしいひな人形やひなかさざりにうっとりしながら、春の雰囲気を楽しみました。



鮮やかに飾られたひな人形やさげもん



▲田中さん(左)、佐藤町長(右)

全国の舞台で大いに活躍を

南関中学校 田中光輝さん

2月15日、福岡県久留米市の中学生硬式野球チーム「筑後リバース」に所属する、南関中学校1年生(当時)の田中光輝さん(上長田)が佐藤町長を表敬訪問。昨年11月に行われた「第14回九州連盟1年生大会」の優勝と「第9回九州連盟杯選手権大会」の優勝、3月25日～27日にかけて沖縄県で開催される「エスプランナー 第7回全日本選抜中学硬式野球大会」への出場を報告しました。

主に投手や外野手として活躍する田中さんの武器は、打者をねじ伏せる威力抜群の直球。大会へ向けて「これまでの悔しさなどを糧にチームで一番活躍し、全国で優勝できるように頑張りたい」と意気込みました。



▶(前段)左から、森さん、西田さん、小竹さん、正川さん
(後段)佐藤町長

九州大会でも全カプレーを

南関中学校女子ソフトテニス部

南関中学校(永杉尚久校長)女子ソフトテニス部の小竹陽菜さん、正川愛咲さん、西田華菜さん、森心春さんが佐藤町長を表敬訪問し、1月28～29日に熊本県民総合運動公園で開催された「第15回全九州地域選抜中学校ソフトテニス大会」、2月25～26日にパークドーム熊本で開催された「第27回熊本中央ロータリークラブ旗争奪九州中学生ソフトテニス大会」で決勝トーナメント出場を決めたこと、3月19日に行われる「第35回九州地区中学校選抜ソフトテニス選手権大会」への出場を報告しました。

3月の大会へ向け選手たちは「いい結果が残せるよう一杯自分のプレーを出しきり、チーム全員で協力しながら頑張ります」と抱負を述べました。

感謝胸に、母校を巣立つ

中学校で卒業式

3月3日、南関中学校(永杉尚久校長)で「令和4年度第37回卒業証書授与式」が行われ、61人が思い出の詰まった学び舎を巣立ちました。

一人ひとりに卒業証書を手渡した永杉校長は「未来への希望、挑戦への鼓動を燃やし続け、自分の信じる道に熱くチャレンジしてほしい」と激励の言葉を贈りました。

卒業生を代表して宮本一磨(下坂下)さんは「この仲間たちと出会えたことに感謝。3年間で学んだことを胸にこれから自分の道を歩んでいきます」と感謝と決意の言葉を述べました。

卒業生は、苦楽を共にした仲間と名残惜しそうに談笑しながら、誇らしげな表情で新たな道へと踏み出していきました。



▲感謝を込めて「ふるさと」を合唱する卒業生

伝統の踊り堂々披露

二小の児童が地域高齢者と交流

3月1日、南関第二小学校(隈部孝二校長)の4年生13人が久重北公民館で、地域の高齢者に「夢ほたる音頭」を披露しました。

環境教育の一環としてホテルについて学習している同校の提案で、約20年前に地域のホテルまつりで踊られていた「夢ほたる音頭」を地域の人から教わり、同校の学習発表会でも披露。現在では地域の人でもわずかしか踊り手がない中、児童はホテルの動きや琵琶瀬川の流れを忠実に表現しながら、振り付けを考案した堀愛子さんと一緒に踊りました。

披露後は公民館の掃除に一生懸命取り組んだほか、お手玉や折り紙など、昔ながらの遊びを地域の人と楽しみ、交流を深めました。



▶夢ほたる音頭を披露する児童



▲寄贈された本(手前)と校歌を歌う児童

楽しく北原白秋を学ぶ機会に

第一小学校で『北原白秋マンガ本』贈呈式

3月9日、南関第一小学校(前田洋志校長)で、マンガ本の贈呈式を行いました。代表で6年生(当時)の八尋竜伍さん(関東)が「この本を読んで、白秋さんのことをもっと詳しく知りたい」とお礼を述べ、全校児童で白秋が作詞した校歌を歌いました。

このマンガ本は、B&G財団の助成事業(ふるさとの偉人マンガ)を活用し、「～北原白秋物語～二つの故郷」として制作しました。制作には、NPO法人熊本マンガミュージアムプロジェクトや株式会社COLTに原案・作画を依頼し、約8カ月をかけて今年2月に完成しました。

マンガ本は、町内の全児童に配布しました。



▶地域の人とグラウンドゴルフを楽しむ児童

グラウンドゴルフで交流を楽しむ

三小放課後こども教室

2月17日、南関第三小学校(太田勝広校長)放課後こども教室の2年生が、地域の民生委員や婦人会と同校グラウンドでグラウンドゴルフを楽しみました。

児童と地域の人との世代間交流を目的に昨年町社会福祉協議会の協力で実施。この日は、同協議会が用意したクラブやボールを使用し、児童は2人1組に分かれて、地域の人からクラブの握り方や打ち方など熱心にアドバイスを受けました。

グラウンドゴルフを体験した児童は「難しかったけど、大人の方が優しく教えてくれたので楽しくできました」と笑顔で話しました。交流会後には、児童が心を込めて手作りした花を、地域の人へ感謝の言葉とともに手渡しました。